

(解答例)

1. 安全な飲料水の供給にはジレンマが付きものである。水源水中の微生物を殺すために塩素やフッ素で殺菌処理をすると、発がん性のあるトリハロメタンが生成する危険がある。同様に、南アジアで下痢を起こす細菌や原生動物が多い表層水でなく、そういう微生物の少ない深井戸の地下水を飲料水として用いるようになって暫くしてから大きな問題が起こった。それは何か？

地下水の流れが変わって、砒素を多く含む地層と接したために飲料水中の砒素濃度が上がり、**慢性砒素中毒**が多発した

2. 水道水の水質基準は水道法で定められていて厚生労働省が所管しているが、水質汚濁に関わる環境基準はどの省庁がどのように定めているか？

環境省が人の健康の保護及び生活環境の保全を目的として、一律排水基準と公共用水域の水質汚濁に係わる環境基準を設定している

3. 地球温暖化にともなって水の涸渇リスクが高いと言われているのはどういう地域か？

元々は降水量が少ない乾燥地帯や人口が稠密で水の需要が多い地域で枯渇リスクが高いが、地球温暖化が進行すると、山頂の万年雪が融けてしまうので、それに水資源を依存している**山岳地方**の枯渇リスクが高くなる。